

教 授 要 目

昭 和 3 9 年 度

小 樽 商 科 大 学

小樽商科大学数授要目

目 次

I 授業科目履修方法	1
1 昭和39年度開設科目	1
2 履修方法	1
II 教授要目	5
1 一般教育科目	5
2 外国語科目	11
3 保健体育科目	18
4 専門教育科目	19
5 教職に関する専門科目	38
6 管理科学科目の履修に関する注意事項	41

I 授業科目履修方法

1. 昭和39年度の開設科目は次の通りである。

区分	授業科目	単位	年度	担当教官	備考
一般 教育 科目	人文学				
	哲学	4	Ⅱ	川村教授	(北海道大学文学部 助教授)
	倫理学	4	Ⅰ	〃	
	心理学	4	Ⅰ	馬場講師	
	歴史学	4	Ⅱ	井上講師	
	日本文学	4	Ⅰ	広田教授	
	外国(仏)文学	4	Ⅱ	松尾教授	
	外国(露)文学	4	Ⅱ	松本講師	
外国(英)文学	4	Ⅰ・Ⅱ	飛田助教授		
	日本文化史	4	Ⅰ	広田教授	
社会科学	※社会科学概論	2	Ⅰ・Ⅱ	未定	(後期)
	法学概論	4	Ⅰ	中川助教授	
	憲法	2	Ⅱ	桑原助教授	
	◎経済学概論	4	Ⅰ	藤井助教授	
	◎商業概論	4	Ⅰ	岡本教授	
	※政治学	2	Ⅰ・Ⅱ	未定	
自然科学	◎数学	4	Ⅰ	武隈教授	(北海道学芸大学助教授)
	物理学	4	Ⅰ	小宮講師	
	化学	4	Ⅰ	斎藤教授	(北海道大学理学部)
	生物学	4	Ⅰ	向川講師	
外国語科目	◎英語(1)	12	{Ⅰ Ⅱ}	(備考参照)	(外国人教師) (北海道大学文学部講師) (外国人講師) (北海道大学 経済学部講師)
	英語(2)	4	Ⅲ・Ⅳ	久納講師	
	英英語(2)	4	〃	スミス教師	
	英英文学	4	Ⅰ・Ⅱ	飛田助教授	
	○独語	8	{Ⅰ Ⅱ}	{宮下講師 オピッツ講師}	
	○仏語	8	{Ⅰ Ⅱ}	{松尾教授 太黒講師}	
	○中国語	8	{Ⅰ Ⅱ}	川上教授	
	○露語	8	{Ⅰ Ⅱ}	松本講師	
	○西語	8	{Ⅰ Ⅱ}	一色助教授	

保健体育科目	◎実技	2	I	杉山 助教授 須貝 講師	(非常勤講師)
	◎講義	2	II	杉山 助教授 山口 講師	(前期) (小樽協会 病院内科医長)
専門教育科目	◎民法I	4	II	相原 講師	(小樽商大短大 助教授)
	◎商法I	4	III	実方 講師	
	◎商法II	4	IV	〃	
	◎国際法学	4	IV	桑原 助教授	
	◎統計学	4	II	西川 助教授	
	◎数理統計学	4	I III IV	戸島 講師	(後期)
	◎経済統計学	2	III	竹内 助教授	(後期)
	◎経済原論	4	II	藤井 助教授	(前期)
	◎経済変動論	4	IV	地主 助教授	(前期)
	◎計量経済学	4	IV	松田 講師	(後期)
	◎経済史概論	4	II	浜林 教授	
	◎経済政策学	4	III	麻田 教授	
	◎財政学	4	III	早見 講師	
	◎国際経済論	4	IV	麻田 教授	
	◎商業英語	4	III	木曾 教授	
	◎経済地理論	4	II・III	大爺 講師	(後期) (北海道大学 経済学部教授)
	◎金融経済論	4	III	阪口 助教授	
	◎国際金融論	4	IV	〃	
	◎銀行論	4	IV	藤沢 教授	(前期)
	◎配給論	4	III	岡本 教授	
◎交通論	4	IV	久木 教授		
◎保険論	4	IV	〃		
◎証券市場論	4	IV	進藤 講師	(後期)	
◎企業分析	2	III・IV	岡田 講師	(大和証券(株)調査部長)	
◎有価証券論	2	III・IV	福田 講師	(神戸大学名誉教授)	
◎経営経済学	4	II	室谷 講師	(小樽商大短大教授)	
◎産業心理学	4	IV	馬場 講師		
◎簿記学	4	II	久野 講師		
◎商業数学	4	I III IV	沼田 講師		
◎会計学	4	III	石河 教授		
△応用数学I	4	II	武隈 教授		
△応用数学II	4	II	沼田 講師		
△応用数学III	4	II	戸島 講師		
△管理科学I	4	III	西川 助教授		

	△管理科学II	4	III	古瀬 教授	
	△管理科学III	4	III	竹内 助教授	
	△計算機論	4	III	古瀬 教授	
	△数値計算	4	III	穂鷹 講師	
	△経済学特殊問題	4	II・III	降旗 講師	(北海道大学 経済学部助教授)
	研究指導	12	III・IV	専門科目担当教官	
経済学専門科目	◎経済学史	2	III・IV	未定	
	◎工業経済学	4	III・IV	吉武 助教授	
	◎社会政策	4	IV	〃	
商業学専門科目	◎商品学	4	IV	斎藤 教授	
	◎工場経営	4	III	伊藤 助教授	
教職に関する専門科目	◎教育原理	3	I	田中 助教授	
	◎商業科教育法	3	II	金巻 講師	(小樽商大短大教授)
	◎英語科教育法	3	III	脇田 助教授	
	◎教育実習	2	II	金巻 講師	(小樽商大短大教授)
	◎教育史	3	III	田中 助教授	

備考

- 表中、◎印は必修科目を示す。
- 表中、○印は選択必修科目を示す。
- 表中、※印は集中講義を示す。
- △印は38年度より開設した管理科学系列に属する科目である。
- 英語(1)の担当教官は次のとおりである。
木曾教授、脇田助教授、飛田助教授、宇賀治助教授、久納講師、スミス外国人教師、北村講師(小樽商大短大教授) 北市講師(小樽商大短大講師) 野尻講師(北大文学部助教授) マッククラウド講師(外国人講師)
- 英語(2)、英語学および英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に一般学生の課外科目としての履修参加も認められる。
また、英文学は一般教育科目、外国(英)文学と同じ講義であり履修生の希望によりどちらか一方の単位となる。

2. 学生は4年間在学し下記各項に示すところに従い、単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

(1) 一般教育科目

一般教育科目は人文科学、社会科学、自然科学の3系列につき、それぞれ

単位修得要領一覽表 (最)

れ3科目12単位以上を履修しなければならない。

なお、社会科学系列の経済学概論、商業概論は昭和33年度以前入学者を除く全学生の必修科目、自然科学系列の数学は全学生に対しての必修科目となっており、社会科学系列の憲法(2単位)は、高等学校(商業科および英語科)二級普通免許状を取得する学生についてのみ必修となっている。

また文学の単位は日本文学、外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業のための所要単位数に算入される。

(2) 外国語科目

英語(1)は1年度、2年度の各年度毎に毎週6時間履修し、担当教官(各クラス3名)の総合成績が合格することによって年度毎の6単位が与えられ、合計12単位を必修とする。(別表参照)

英語以外の外国語(独、仏、中、西、露の各外国語)は、いずれか1カ国語を選択必修とし、毎週4時間、年度毎(1, 2年度)4単位計8単位を履修しなければならない。

(3) 保健体育科目

体育は実技2単位(1年度)、講義2単位(2年度)を必修とする。

(4) 専門教育科目

専門教育科目は84単位以上(職業指導を除き)を履修しなければならない。

なお、専門科目中、民法I、商法I、統計学、経済原論、経済史概論、経営経済学、簿記学および会計学各4単位は昭和33年度以前入学者を除く全学生に対しての必修科目となっている。

また、高等学校商業科(英語科は該当せず)二級普通免許状を取得する学生については、上記84単位の外、職業指導を必修とする。

研究指導は毎週3時間、3年度からの2カ年継続授業12単位(卒業論文を含む)で専門教育科目84単位中に含まれる。

研究指導を履修しない学生は研究指導12単位分を、他の専門教育科目の履修によって充足し、84単位以上を履修しなければならない。

学生は、3年度から経済学科と商業学科とに分れるが、他学科の専門科目は卒業の単位には算入されない。従って専門教育科目は各人の所属する学科の専門科目と共通専門科目について84単位以上を修得しなければならない。

(5) 商業教員養成課程

商業教員養成課程(以下教職課程という)の履修を条件として入学した学生は、上記の外、高等学校商業科二級普通免許状取得の資格を得ることも卒業のための条件となっているから注意を要する。

その他、単位の修得要領については、次頁の別表を参照すること。

種 別	科目 区別	一般教育科目				保健体育科目			外国語科目				科 別 単 位 数	
		人文 科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語					
									英語(1)		英語(2) 英語学	英文学		小計
									I	II				
A	一般学生	12	12 (経済学概論 商業概論)必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4
B	商業教員養成課程(教職課程)を履修条件としての入学者	12	12 (経済学概論 商業概論 憲法)必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4
C	高等学校英語科二級普通免許状取得希望者	12	12 (経済学概論 商業概論 憲法)必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4

注

- 1 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- 2 A, B欄はそれぞれ卒業最低所要単位数である。
- 3 教職課程以外の一般学生で、高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
但し、その場合はB欄中、A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- 4 A欄該当者がC欄によって単位を修得した場合は、C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

単位修得要領一覽表 (最低所要単位数)

科目 區別	一般教育科目				保健体育科目			外国語科目						専門教育科目	教職に関する専門科目	合計					
	人文 科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語			英語以外の 外国語						計				
								英語(1)		英語(2) 英語学	英文 学	小計	I					II	小計		
								I	II												
A 一般学生	12	12 (経済学概論 商業概論) 必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4	4	8	20	84	民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経 営経済学, 簿記学, 会計学 を必修とする。他学科専門 科目, 職業指導を除く。		144	
B 業教員養成 課程(教職課 程)を履修条 としての入 者	12	12 (経済学概論 商業概論) 必修 憲法	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6			12	4	4	8	20	88	職業指導, 民法I, 商法I 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とす る。他学科専門科目を除く。	14 教育原理 3単位 教育心理学 3単位 商業科教育法 3単位 教育実習学 2単位 教育社会学 3単位 教育史 3単位 教育統計 3単位	必修 選択	162
C 等学校英語 二級普通免 状取得希望	12	12 (経済学概論 商業概論) 必修 憲法	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4	4	8	40	84	民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経 営経済学, 簿記学, 会計学 を必修とする。他学科専門 科目, 職業指導を除く。	14 教育原理 3単位 教育心理学 3単位 英語科教育法 3単位 教育実習学 2単位 教育社会学 3単位 教育史 3単位 教育統計 3単位	必修 選択	178

注

- 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- A, B欄はそれぞれ卒業最低所要単位数である。
- 教職課程以外の一般学生で, 高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
但し, その場合はB欄中, A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は, C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- B欄該当者がC欄をも履修しようとする場合はC欄中のB欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- 表中, 「英語以外の外国語」とは独語, 仏語, 中国語, 西語, 露語を示す。
(うち1科目選択必修)

II 教授要目

1. 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

哲学史の中より若干のテーマを選び、哲学の意味、目的、問題、方法等を講義し哲学的精神の一端に触れしめたいと思う。

倫 理 学

教授 川 村 三千雄

具体的な道德の事実から出発して倫理学の意義を示し更に道德哲学にまで及ぶ。且つ他方日本的道德の性格について反省する。

心 理 学

講師 馬 場 道 夫

- 第1章 心理学とその研究法
- 第2章 人間行動の基礎
- 第3章 基本的動機
- 第4章 社会的動機
- 第5章 感 情
- 第6章 適応と異常
- 第7章 学 習
- 第8章 記憶と忘却
- 第9章 言語と思考
- 第10章 環境の認知
- 第11章 性格（知能を含む）
- 第12章 集団の心理

一般教養として、人間を全般的に科学的に理解すること及び産業心理学、教育心理学の基礎コースとして、人間の基本的性質を理解し後の学習に役立つことを眼目としている。

参考書：矢田部達郎 「心理学初歩」 誠信書房

日本文学

教授 広田二郎

近世詩歌史

- 1 イ, 近世詩歌のジャンル
ロ, その源流
- 2 初期の詩歌
- 3 元祿期の詩歌(蕉風の展開)
- 4 天明期の詩歌(古典復興運動)
- 5 化政期の詩歌(風雅の習俗化)
- 6 結語

外国(仏)文学

教授 松尾正路

フランス文学史

外国(露)文学

講師 松本忠司

講義の主題——ロシア・インテリゲンツイアの歴史。本年度の講義では、60年代作家論が中心となる予定。

英文学

助教授 飛田茂雄

1. 英国演劇の発生とその発展(エリザベス朝時代まで)。
2. エリザベス朝時代における舞台と俳優, 観客など。
3. シェイクスピアの生涯と作品。
4. シェイクスピア劇鑑賞に必要なその他の予備知識。

以上についてごく簡単に講義したあと、*Macbeth* を読む。一年間で全部読み終える予定である。

テキストは丸文書店に用意するが、他の版を用いてもよい。(ただし、*Penguin* 版は初心者には不向きである。) 特別の辞書等を講入する必要はない。

[注意] 教職課程に必要な「英文学」を履修する者のためには、明年度に英

文学史を講義する。本年度のこの「英文学」を教職課程単位にふりかえる必要のある者は履修登録締切日前に担当教官に申し出ること。

教科書: 「マクベス」 (研究社詳註シェイクスピア双書) 450円

歴史学

非常勤講師
(北海道大学助教授) 井上泰男

日本文化史

教授 広田二郎

古代から近世までの日本文化の史的展開を、芸術史, 思想史を中心として話してゆく予定。

参考書: 家永三郎著「日本文化史」(岩波新書), 岩波講座「日本歴史」

社会科学概論

講師 未定

法学概論

助教授 中川良延

下記教科書の内容からつぎの項目を抜萃しておこなう。

- 1 法と法学
- 2 所有権
- 3 契約
- 4 家族
- 5 会社
- 6 労働法
- 7 司法制度

そしてこの講義では二つのことを目的とする。ひとつは、「法と法学」において、法を絶対視する法至上主義的考え方をぬぐい去り、法をわれわれの身近なものに引き寄せることである。第2に、とくに私法に関してであるが、市民法から社会法への発展を概観して、今日の法の構造を明らかにすることである。

教科書: 高柳真三・柳瀬良幹編「法学概論」(角川全書)

憲 法

助 教 授 桑 原 輝 路

- I 序 論
- II 統治の原理
 - 1. 日本国憲法における統治の原理
 - 2. 民主主義的統治の制度
 - 3. 自由主義的統治の制度
- III 統治の機関
 - 1. 国民
 - 2. 天皇
 - 3. 国会
 - 4. 内閣
 - 5. 裁判所
- IV 戦争の放棄
- V 基本的人権

経済学概論

助 教 授 藤 井 栄 一

教科書：P. A. Samuelson, *Economics*

商業概論

教 授 岡 本 理 一

商業に関する一般的解説を行い、以て現代商業の研究に必要な準備的、基礎的知識をあたえることを目的とする。

- 1 商業の学問
 - (1) 学問とは何か
 - (2) 商業学の発達
- 2 商業の起源とその発達
 - (1) 商業の発生
 - (2) 階段的発達
 - (3) 機能別発達
- 3 商業の概念
 - (1) 現代の商業学説と批判
 - (2) 現代商業の分類
- 4 現代商業構造
 - (1) 商業の主体
 - (2) 商業形態
 - (3) 商業の客体
 - (4) 商業の依存関係
- 5 配給組織
 - (1) 配給の意義
 - (2) マーケティングについて
 - (3) 配給組織—
a 集収組織 b 仲継組織 c 分散組織
- 6 資本主義の発展と商業
 - (1) 商業介入傾向と商業廃除傾向
 - (2) 協同組合、公企業による商業経営
 - (3) 社会主義と商業

教科書：福田敬太郎著 「商学総論」 (昭和30年2月, 千倉書房)

政治学

講 師 未 定

数 学

教 授 武 隈 良 一

微分積分学の講義を行う。

教科書：吉田洋一著 微分積分学 (培風館発行)

物 理 学

非常勤講師
(北海道学芸大学助教授) 小 宮 英 太 郎

一般教育設定の趣旨に沿って講義をしたい。特に最近の産業界の動向に鑑み、技術改新に応ずる近代物理学を紹介し、教養の一端に資したい。

講義は近代物理学の準備階梯としての最小限度の古典物理学と、近代物理学とに2分して行なう予定。

教科書：未 定

化 学

教 授 齋 藤 要

本年度は次記の項目について講義する予定である。

基礎化学概論

原子の化学

生命現象の化学

応用化学概論

無機化学工業 (特にソーダ及び塩素)

有機化学工業 (特に石油及び繊維)

以上の講義の過程において、理論化学、放射能化学及び酵素化学についても論及する。

なお、教科書は使用しないが、参考書は必要に応じて紹介する。また折をみてモデル実験を行う。

生物学

非常勤講師
(北海道大学理学部) 向川 信 一

どのように簡単な体制の生物でも、その個体の生命を維持し、種族を発展させるための機構は誠に巧妙である。人類は太古より、このような生命現象の諸相について数多くの知識を積み重ね、生命の本質を追究し、生物学的法則というべき原則の確立に努力を続けてきた。その成果は作物の栽培や動物の飼育とかの技術の向上をもたらし、他の自然科学との関連の下に我々の生活を豊かにして来たが、我々自身もまた生物の一員であり、その社会生活の根底に直接、或は間接に生物学の占める意義を否定することは出来ない。更に又生命の認識、生命体の発生や変化の過程等を巡る諸問題について今も尚鋭い思想的対立があり、それらが又我々の人生観や世界観等に関して多くの問題を提示していることも、言を俟たない。生物学は近年ようやく急速な進歩を示し、学問分野によつては日進月歩の感を深くするのであるが、講義では主として定説化した諸問題を中心に最近のトピックスを加え、問題点を示しながら行なう予定である。なお特別に教科書を定めない。

2. 外国語科目

1年必修英語

教授 木曾 栄 作
助教授 宇賀治 正 朋
外国人教師 Wallace W. Smith
非常勤講師
(小樽商大短大教授) 北 村 正 司
外国人講師 Ian G. Macleod

テキスト

Audrey L. Wright: Practice Your English (Part I)

助教授 脇 田 勇

テキスト

James Hilton: Good-bye, Mr. Chips (研究社)

助教授 飛 田 茂 雄

テキスト

Erich Fromm: The Art of Loving (松柏社)

講 師 久 納 泰 之

テキスト

F. Scott Fitzgerald: Babylon Revisited and Winter Dreams
(研究社)

非常勤講師
(北海道大学文学部助教授) 野 尻 吉之進

テキスト

Maurier: The Birds (金星堂)

2年必修英語

教授 木曾栄作

外国人教師 Wallace W. Smith

非常勤講師 北 市 陽 一
(小樽商大短大講師)

外国人講師 Ian G. Macleod

テキスト

William L. Clark: Spoken American English (Intermediate Course) (研究社)

助教授 脇 田 勇

テキスト

W. S. Maugham: Books and You (金星堂)

助教授 飛 田 茂 雄

テキスト

E. M. Forster: Where Angels Fear to Tread

助教授 宇賀治 正 朋

テキスト

Arthur Conan Doyle: The Speckled Band and The Blue Carbuncle. (研究社)

テキスト

Thornton Wilder: The Bridge of San Luis Rey (大阪教育図書)

講 師 久 納 泰 之

テキスト

D. H. Lawrence: The Ladybird (金星堂)

非常勤講師 野 尻 吉之進
(北海道大学文学部助教授)

テキスト

Three Choice Stories (金星堂)

英 語 (2)

講 師 久 納 泰 之

テキスト

Shakespeare: Hamlet (研究社)

¥ 650.00

外国人教師 Wallace W. Smith

Course Title: Public Speaking

Purpose: To let students acquire the processes and methods for speaking in public--any and all activities where speaking English is done in front of others.

Items to be covered: we will learn how to

1. outline
2. summarize
3. arrange items in logical order
4. make introductions and greetings
5. agree and disagree
6. praise and criticize
7. make public announcements
8. make oral reports
9. conduct meetings
10. express opinions
11. make extemporaneous speeches
12. make prepared formal speeches
13. use the telephone effectively
14. make table speeches
15. act and speak at social functions [social English]
16. use proper gestures and platform manners
17. study various types of speeches: to inform, entertain, move, arouse, etc.
18. application of above to use in Japanese language

Activities: [suggested]

1. Participation in all speech contests in Hokkaido
2. listening to and discussion of famous speeches
3. special party at which all above activities will be put to practical use

Text Materials:

1. various public speaking texts for American schools to be on a reserve reading shelf in the library; selected rearding from these
2. mimeographed materials
3. lectures by instructor
4. talks by guest speakers on public speaking

英 文 学

助教授 飛 田 茂 雄

1. 英国演劇の発生とその発展（エリザベス朝時代まで）。
2. エリザベス朝時代における舞台と俳優，観客など。
3. シェイクスピアの生涯と作品。
4. シェイクスピア劇鑑賞に必要なその他の予備知識。

以上についてごく簡単に講義したあと，*Macbeth* を読む。一年間で全部読み終える予定である。テキストは丸文書店に用意するが，他の版を用いてもよい。（ただし，*Penguin* 版は初心者には不向きである。）特別の辞書等を購入する必要はない。

〔注意〕教職課程に必要な「英文学」を履修する者のためには，明年度に英文学史を講義する。本年度のこの「英文学」を教職課程単位にふりかえる必要のある者は履修登録締切日前に担当教官に申し出ること。

テキスト 「マクベス」 （研究社詳註シェイクスピア双書） 450 円

英 語 学

助教授 宇賀治 正 朋

英語学とは，英語という一つの言語についての科学的研究の総称であり，英

語によって表現される芸術作品についての研究である英文学と対立する学問分野である。

英語学の領域には，英語史，音韻論，文法，語彙論，意味論，語原学，綴字論，辞書学，文体論，その他がふくまれるが，これらのうち教室では，本科目が教職課程（英語科）の必須コースであることを考えあわせて，英語史とくに十七世紀以降の英語の歴史と，現代英語の文法について概説をおこなう予定である。

テキスト

Albert H. Marckwardt: American English (Oxford University Press)

外国語実験室 (Language Laboratory) 演習

教授 木 曾 栄 作

助教授 脇 田 勇

助教授 飛 田 茂 雄

助教授 宇賀治 正 朋

講 師 久 納 泰 之

外国人教師 Wallace W. Smith

助手 高 島 稔

非常勤講師 (小樽商大短大教授) 北 村 正 司

非常勤講師 (小樽商大短大講師) 北 市 陽 一

演習内容

1年においては英語発音の基礎的演習に重点をおき，併せてリズム，イントネーションの基礎的知識を与えて習熟させる。

2年においては教室授業と関連させつつ，学習内容の復習・確認に重点をおき，更にその応用能力の増進をはかる。

テキスト

1年 Vernon Brown: Improving Your Pronunciation (明隣堂)

2年 William L. Clark: Spoken American English (Intermediate Course) (研究社)

課外英語(1・2)

(Reading Assignment)

英語教官担当

独 語 I (北海道大学文学部講師) ^{非常勤講師} 宮下健三

文法書中心に講義を行い、文法終了後短篇小说をよむ。初等文法の修得を図り、会話、読解力などの基礎を養う。

教科書 中村英雄・中村浩三著

簡約たのしいドイツ文法(大学書林) 250円

独 語 II (北海道大学文学部講師) ^{非常勤講師} 宮下健三

訳読を主とする。中級の現代文学から始め、やや高度のテキストにより現代文学又は古典に移る。

前期テキスト シュニツツラー 「栄誉の日」 (南江堂) 160円

Schnitzler, Der Ehrentag 現代文学叢書 No.66

独 語 (札幌医科大学講師) ^{非常勤講師} フリッツ・オピッツ

仏 語 教授 松尾正路

1年 発音, 文法, 作文, 訳読

2年 作文, 訳読, 翻訳実習

仏 語 (北海道大学経済学部講師) ^{非常勤講師} 太黒マチルド

中国語 I 教授 川上久寿

教科書: 現代中国語入門 香坂順一著 光生館

参考書: 岩波中国語辞典

中国語 II 教授 川上久寿

教科書: 茅盾選集 人民文学出版社

参考書: 岩波中国語辞典, 鐘ヶ江信光中国語辞典, 香坂順一・大田辰夫
現代中日辞典。

露 語 I 講師 松本忠司

教科書: 初等ロシア語文法

ロシア作家短篇小说

露語会話教程

露 語 II 講師 松本忠司

教科書: 文学教科書(ソ連邦教育図書出版所)

20世紀の資本主義(抜萃プリント刷)

ロシア経済思想史(同上)

西 語 I 助教授 一色忠良

教科書: 高橋正武著 「スペイン語文法読本」 (白水社)

西 語 II 助教授 一色忠良

スペインを背景にした平易な解説を進めながら基本的な会話文と商業文をやる。

教科書: 商業文の教科書は, 笠井鎮夫著「新選スペイン語商業通信」

(第三書房)

3. 保健体育科目

実 技

助教授 杉 山 登

非常勤講師 須 貝 忠 吉

1. 必須実技種目

- ① 水 泳 実習内容としては、自由型、平泳、背泳、横泳、潜水、逆跳、立泳、救助法、救急法、に関する実技について実習する。実施期間は6月～7月にかけて実施の予定である。
- ② スキー 実習内容としては、直滑降、斜滑降、全制動滑降、全制動廻転、横すべり、シュテム・ボゲン、クリスチヤニア（各種）等について行う。実施は1月～2月の予定である。

2. 選択実技種目

軟式野球、羽球、卓球、ソフトボール、排球、陸上競技、軟式庭球、柔道。

選択実技種目に関しては4月～7月、9月～12月の2期間に於て各期間毎に各々一種目を自由選択して履習する。猶、人員の関係から選択種目の変更をさせることもある。

3. 運動能力測定

ハバートステツプテスト、サイドステツプ、サージヤントジャンプ、腕立伏臥屈伸、体前屈、バランス、背筋力、脚力、肺活量、握力。
以上の種目について5月中に測定を実施する。

講 義 前期 { 保健(前) (小樽協会病院内科医長) 非常勤講師 山 口 貢
 { 体育理論(後) 助教授 杉 山 登

1. 保 健 (前期前半)

2. 体育理論 (前期後半)

講義内容は昨年度と大体同様であり、運動生理に関する問題をとりあげてゆくが、本年は又、我が国に於ける産業体育の現状と動向についてもふれてみたいと思う。

4. 専門教育科目

民 法 I

非常勤講師 (小樽商大短大助教授)

相 原 東 孝

序 説 一民法一般について一

物権法

- 第1章 民法の意義
- 第2章 民法典
- 第3章 民法の効力
- 第4章 権利と解釈
- 総 則
- 第1章 人
- 第2章 物
- 第3章 法律行為
- 第4章 期間と時効

- 第1章 総 論
- 第2章 占有権
- 第3章 所有権
- 第4章 地上権
- 第5章 永小作権
- 第6章 地役権
- 第7章 入会権
- 第8章 担保物権概説
- 第9章 担保物権の一般的効力
- 第10章 以下省略

教科書：中川善之助著 民法大要（上巻） （勁草書房）

参考書：資本主義民法研究会 民法講義 民法総則
 物 権 法 （女人書房）

商 法 I

講 師 実 方 謙 二

商法総則・会社法

教科書：実方正雄「商法講義」
参考書：石井照久「商法総則」（弘文堂）
 鈴木竹雄「会社法」（弘文堂）

商 法 II

講 師 実 方 謙 二

有価証券法・商行為法

教科書：実方正雄「商法講義」
参考書：鈴木竹雄「手形法・小切手法」（有斐閣）
 鈴木竹雄「商行為・保険・海商法」（弘文堂）

国際法

助教授 桑原輝路

- I 国際法の観念
- II 国際社会の構造
 - 1 国際社会の構成
 - 2 国際社会の組織化
- III 国際法的関係の諸形態
- IV 特殊問題（国際経済法に関する若干の問題）

統計学

助教授 西川欽也

数理統計学

講師 戸島 潤

数理統計学の基本的な考え方に重点をおいて講義をすすめたいとおもう。
テキストを使用する予定であるが、詳細は後日指示する。

経済統計学

助教授 竹内 清

最初

経済統計学（デー・ヴェー・サビンスコフ教授鑑集）
1962（ロシア語原書）

を中心にして経済統計学の基本を講義する。なお、その他の参考文献としては、

C. Blyth, *The Use of Economic Statistics*, 1960.

E. Devons, *An Introduction to British Economic Statistics*, 1958.

さらに、最近のソ連における、経済問題への数学的方法および電子計算機の応用をめぐる諸問題を、最近のソ連の雑誌や書籍を通じて講述する。

経済原論

助教授 藤井 栄一

経済学の基礎理論の分析と批判

参考書：Hicks, *Value and Capital*, DOSSO, *LP and Economic Analysis*,
Keynes, *General Theory* ほか。

経済変動論

助教授 地主重美

- 1 景気変動論の沿革
- 2 所得決定のメカニズム
- 3 投資理論
- 4 市場構造と投資
- 5 分配構造と消費
- 6 景気変動と金融市場
- 7 景気変動と物価問題
- 8 景気変動と国際貿易
- 9 景気対策
- 10 景気循環と経済成長
- 11 日本の景気変動

教科書：M. ベイリー著『国民所得と価格水準』（地主訳、東洋経済近刊）

参考書：G. ハーペラー編『景気変動の理論』（後藤他訳、実業之日本）

J. ヒックス著『景気循環論』（古谷弘訳、岩波書店）

R. ハロッド『景気循環論』（宮崎、浅野訳、東洋経済）

D. ハムバーグ『経済成長と不安定性』（地主訳、東洋経済）

森島 通夫 『資本主義経済の変動理論』（創文社）

篠原三代平 『日本経済の成長と循環』（春秋社）

青山秀夫編 『日本経済と景気変動』（創文社）

吉田 義三 『経済変動の理論』（日本評論）

計量経済学

講師 松田 芳郎

計量経済学は特定の実体を対象とする学問ではなく、経済学の各種の実体的部門と対象を共有し、もつばらその論理構造・推論過程を問題とする一種の方法論的学問であるといえる。従つて経済原論の知識は既得であることが前提とされるだけでなく受講者は各種の実体的分野（金融・国際貿易・財政など本講義では扱わない部門）について応用してみることが望ましい。

この計量経済学には《数学的モデル構成》に関する側面（通常数理経済学と

呼ばれている)と、《統計的推論 Statistical inference》に関する側面とがある。前者については管理科学で十分論議されると思われるので、本講義では後者に力点を置くことにする。

講義は冬学期週2回で完結し、講義と演習とを並行して行う。(昨年度より演習の回数を若干増し、テキスト以外の練習問題もとりあげるが、テキストは開講までに各自かならず購入しておくこと。若刊部を工藤書店に取寄せであるが注文する際は若干の日時の余裕をみておくこと。)

履習済み(Pre-requisit)科目は前述の経済原論の他、統計学・数理統計学・経済変動論・応用数学I・II。なお次の科目を並行して履修することが望ましい。経済統計学。

講義計画。I序論(プリント配布)I・1論理実証主義と計量経済学学説史、I・2統計資料と情報処理(Documentation)——この部分は短時間で終えるためあらかじめ次の書物を読んでおくこと。K. Popper: *Poverty of Historicism* (久野収・市井三郎共訳「歴史主義の貧困」中央公論社)中村秀吉「論理実証主義とマルクス主義」(青木書店)中井正一「美と集団の論理」(中央公論)Bross: *Design for Decision* (竹内清訳「計画と決定」(みすず書房)、II本論(テキスト参照、なお昨年度は所得分布の章を冬休み中の自習課題としたが、今年度もどれかの章を自習課題として休暇後に演習問題の解答を提出させる。)文献紹介は講義の際行う。III補論、時間の余裕があれば社会主義社会での計量経済学の果す役割について考えてみたい。

[注]テキストは同じ Klein の *Textbook of Econometrics* (岩波現代叢書)と異りまだ訳本(39年1月現在)はないから注意すること。

教科書: L. Klein: *An Introduction to Econometrics* (Princeton・Hall, Asian Students' editon)

参考書: S. Valavanis: *Econometrics* (MacGraw) (川勝昭平訳「計量経済学」)(ダイヤモンド)、一橋大経済研究所編「解説経済統計」(岩波書店)、森田優三「統計概論新版」(日本評論、39年版)

経済史概論

教授 浜林正夫

- 〔I〕 封建制の構造
 - (イ) 封建制の成立

- (ロ) 農奴制
- (ハ) ギルド制

〔II〕 封建制から資本制への移行

- (イ) 農民層の分解
- (ロ) マニユファクチュアの発展
- (ハ) 絶対王政と市民革命

〔III〕 産業革命

- (イ) 資本の本源的蓄積
- (ロ) 大農制の成立
- (ハ) 工場制の成立

〔IV〕 資本主義の展開

- (イ) 独占資本の形成
- (ロ) 労働運動の発展
- (ハ) 帝国主義と全般的危機

参考書: 浜林正夫「イギリス市民革命史」

経済政策

教授 麻田四郎

(前期)

厚生経済学……厚生経済学の発展過程をたどり、理論と政策の関係、なかんずく政策目的の設定にあたり、反省すべき諸問題について講義する。

参考書: 千種義人、計画経済原理(春秋社)

(後期)

低開発国の発展政策

- 1 低開発国と貿易理論
- 2 低開発国の発展戦略

参考書: G. M. Meier, *International Trade and Development*, (翻訳近刊); ハーシュマン著、麻田訳、経済発展の戦略(巖松堂出版)

財政学

講師 早見 弘

財政収支が民間経済部門にあたえる効果を、資源配分・所得再分配・経済の安定と成長の各側面から考察する。今年度はとくに財政の主要な収入形態である租税について、その制度的知識を統計基礎として、上記の各側面に与える効果を考えてゆきたい。

1. 予算政策の目標と財政の役割
2. 財政収支の調整と租税原則
3. 租税効果論
 - (1) 所得税と住民税
 - (2) 法人税と法人事業税
 - (3) 資産課税
 - (4) 物品課税
4. 補整的財政政策

参考書：マスグレイヴ著 木下和夫ほか訳『財政理論』（I・II・III）
（有斐閣）

国際経済論

教授 麻田 四郎

貿易理論の発展史をたどりながら、世界経済の秩序原理をたずねる。昨年度の講義を基調とするが、精疎、緩急を工夫して、特に後半に時間を多く残したい。

- 1 古典派貿易理論……比較生産費説，国際価値論
- 2 近代的貿易理論……貿易乗数論
- 3 国際経済協力……国内均衡と国際均衡，国際協力機構
- 4 経済発展と国際貿易……先進国と低開発国，経済統合

教科書：特に指定せず

参考書：渡辺太郎著，国際経済（春秋社）

ハロッド著，藤井茂訳，国際経済学＜改訂版＞（実業之日本社）

商業英語

教授 木曾 栄作

貿易の実務的知識を与えつつ，主として貿易取引に用いられる実用的英語

の構造特異性を講述して，その表現応用能力の養成につとめる。

テキスト

虎尾正助著 英語外国貿易通信（育文社）

経済地理

非常勤講師
（北海道大学経済学部教授）

大 爺 栄 一

金融経済論

助教授 阪 口 伸六郎

- 第1章 イ 実物経済社会における再生産過程
 ロ 貨幣経済社会における再生産過程
 ハ 貨幣総所得の形成と貨幣の循環
- 第2章 イ 貨幣市場
 ロ 資本市場
 ハ 信用理論と資本理論
- 第3章 イ 商業銀行業務
 ロ 投資銀行業務
 ハ 銀行理論
- 第4章 イ 貨幣利子
 ロ 資本利子
 ハ 資金需給説と流動性選好説
- 第5章 イ 貨幣的景気理論
 ロ マネ・フロー分析と景気論
 ハ 景気対策
- 第6章 イ 物価理論
 ロ 為替理論
 ハ 金融政策

参考書：山口茂著『景気循環と金融市場』東洋経済出版

新庄博著『金融論』有斐閣出版

石田定夫著『マネー・フロー分析』日経文庫

国際金蝸論

助教授 阪 口 伸六郎

- 第1章 イ 購売力平價説

- ロ 比較生産費説
- ハ 相互需要説
- 第2章 イ 資本移動
 - ロ 交易条件
 - ハ 外国為替の機能
- 第3章 イ 先物為替
 - ロ 現物為替
 - ハ 為替政策
- 第4章 イ 信用状
 - ロ 貿易金融
 - ハ 為替資金
- 第5章 イ 為替政策
 - ロ 為替精算
 - ハ 均衡相場
- 第6章 イ IMF体制
 - ロ EEC体制
 - ハ 国際金融の行方

参考書：谷 証著『外国為替の知識』日経文庫
大塚武著『国際収支の見方』日経文庫

銀行論

教授 藤 沢 正 也

新らしい *Open System* のなかで、愈々わが国でも、*Finance Capital* を基軸とする金融界の再編成が行われる可能性が強い。についても金融の正常化とは、*Orthodoxy* への『復帰』ではなく、管理通貨制度の発展を指向する *Orthodoxy* からの『脱皮』であることが確認されよう。私の本年度の講義は、以上のような問題意識のもとに、次の順序で金融の理論と実際にとりくんでみたい。

- I 銀行経営の動機（特に日本と英国の普通銀行業務の相違について）
- II 各種金融機関の構成と金融市場の機能（わが国金融構造の特色）
- III 金融政策の問題点（経済変動に対する貨幣及び信用操作の効果と限界について）

教科書：藤沢の編集した金融論教材（資料集）を配布する予定

参考書：キング「ロンドン割引市場史」（藤沢訳，有斐閣）

バロー「英国金融構造の研究」（藤沢，西村共訳，法政大学出版局近刊）

配給論

教授 岡 本 理 一

マーケティング・マネジメントに重点をおいて講述するが、協同組合、中小企業問題にも関説する。

- 1 マーケティングの概念
 - (1) マーケティングの意義 (2) マーケティング研究の現状
 - 2 マーケティング・ミックスの適正化
 - (1) 製品計画について (2) 売価政策について
 - (3) 販売促進について (4) 販売経路について
 - 3 販売経営
 - (1) 販売経営の管理 (2) 販売計画 (3) 販売予算
 - 4 市場調査
 - (1) 市場調査の意義 (2) 市場調査の方法 (3) 販売割当
 - 5 製品計画
 - (1) 製品計画の重要性 (2) 製品計画の方法
 - 6 販売政策
 - (1) 販売決定の意義 (2) 販売決定の方法
 - 7 広告の管理
 - (1) 広告の意義 (2) 広告効果の測定 (3) 広告費
 - (4) ラジオ・テレビによる広告
 - 8 販売経路の管理
 - (1) 配給組織の合理化 (2) 販売組織の系列化
 - 9 協同組合
 - (1) 協同組合の意義 (2) 協同組合の配給事業 (3) 商工組合
 - 10 中小企業問題
 - (1) 中小企業の特質 (2) 中小企業の経営合理化 (3) 中小企業の組織化
- 特定のテキストを使用せず、講義に際し、毎時、要綱を印刷したものを配布する。

保 險 論

教 授 久 木 久 一

- 1 保険の生成発展
- 2 保険の本質
- 3 保険類似の施設
- 4 保険の技術的基礎
- 5 保険の可能の限界
- 6 保険の組織
- 7 保険の形態——保険の種類
- 8 保 險 料
- 9 保険資産とその運用
- 10 保険事業収益の源泉
- 11 保険事業の監督

交 通 論

教 授 久 木 久 一

本年度は海運論を講述する。

- 1 海運の意義
- 2 海運市場
- 3 船 舶
- 4 海運業者
- 5 船 員
- 6 海運の経営
- 7 海運同盟
- 8 運送契約
- 9 海上運送人の責任と負責特約
- 10 用船契約
- 11 船荷証券

証券市場論

講 師 進 藤 寛

講義の目的：金融市場の一部としての証券市場の実態と役割を明らかにす

ること。

講義の内容

- 1 証券市場論の目的と範囲（金融論・銀行論との関係）
- 2 擬制資本—証券の本質—
 - (イ) 利子生み資本と擬制資本
 - (ロ) 擬制資本と現実資本
 - (ハ) 金融資本
 - (ニ) 株式会社の本質，発達および特色
- 3 証券の種類—擬制資本の現実的形態
 - (イ) 公債，社債
 - (ロ) 優先株
 - (ハ) 普通株
- 4 証券市場の構造と実態
 - (イ) 発行市場（証券発行の形態を含む）
 - (ロ) 流通市場（証券取引形態，取引所の歴史・役割を含む）
 - (ハ) 投機と投資（証券金融を含む）
 - (ニ) 機関投資家の実態と役割（投資信託を含む）
 - (ホ) 各国証券市場の類型
 - (ヘ) わが国証券市場の特殊性
 - (ト) 証券市場と金融市場，金融政策との関係

〔備考〕教科書を使用しない。文献目録を配布する。

企業分析 非常勤講師 岡 田 繁
(大和証券株式会社調査部長)

有価証券論 非常勤講師 福 田 敬太郎
(神戸大学名誉教授)

経営経済学 非常勤講師 室 谷 賢治郎
(小樽商科大学短大教授)

- I 研究の対象と方法
- II 学説の史的発展
- III 企業の経営者と企業形態

IV 経営管理

V 経営労務

VI 経営財務

(参考書は講義時間中に挙示する)

産業心理学

講師 馬場道夫

第1部 購売行動の心理

- 消費の動機(流行を含む)
- 広告の心理
- 広告効果測定法
- モチベーション・リサーチ

第2部 産業の社会心理

- 産業における社会的動機
- 産業における集団
- 労働集団と生産性
- ヘッドシツプとリーダーシツプ
- 新しい人間関係(経営参加など)

第3部 機械と人間

- 作業環境
- 操作の条件
- 適性
- 産業災害
- 人間と仕事

産業における人間行動の理解に重点をおく。

考参書：豊原恒男 産業心理学 共立出版
栗屋義純 広告効果測定 技報堂

簿記学

講師 久野光朗

最初の授業時間に授業計画と学習方法を説明し、参考書の紹介をいたしますが、授業の進め方は次のとおりです。

§1 総論

§2 貸借理論

§3 勘定理論

§4 帳簿組織論

§5 決算理論

参考書 石河英夫, 「商業簿記要論」(お茶の水書房, 1953)

商業数学

講師 沼田久

商業数学という名称が含む内容とは一致しないが、代数学初歩、即ち行列、行列式、代数方程式、定差方程式等を講義する。

教科書：古屋茂 行列と行列式(培風館)

高橋健人 差分方程式(培風館)

会计学

教授 石河英夫

第1章 会计学の概念

第2章 企業会計の本質

第3章 企業会計の機能

第4章 会计学説の展開

第5章 企業会計の基礎的前提

第6章 企業会計

第7章 損益計算

第8章 資産会計

第9章 資本金会計

第10章 剰余金会計

第11章 棚卸資産の評価

第12章 減価償却

[注] 講義順序は時間の関係で変更することがある。

応用数学 I

教授 武隈良一

講義の内容は解析学(微積分補充, 微分方程式, 変分法, 積分方程式な

ど)であるが、それらの社会、経済現象への応用の基礎をつくるのが目的である。

参考書：R. G. D. Allen : *Mathematical Economics*, 1956.

P. Samuelson : *Foundations of economic analysis*. 1947.

応用数学 II

講師 沼田 久

前年度の商業数学をひき継いで、代数学、即ち非負行列、線型不等式、ゲームの理論、線型計画等を講義する。

教科書：二階堂副包 経済のための線型数学 (培風館)

応用数学 III

講師 戸島 熈

統計学の応用面を中心に講義する。テキストを使用するかどうかは未定である。

管理科学 I

助教授 西川 欽也

管理科学 II

教授 古瀬 大六

第1学期

Gass : *Linear Programming : Methods and Applications*, Mc G-H, \$ 6.50

をテキストとして LP の基礎的知識を与える。

第2学期

バウマン・フェッター：プロダクション・マネジメント，東洋経済新報社 (1,500円) をテキストとして，各種OR技法の生産過程への応用に習熟させる。

第3学期

テーマを与えて報告を作成させる。

上記テキストは，各自購入することが望ましいが，図書館に各5部を備えて利用させる (但し館外貸出禁止)。その外，参考書として下記の書籍を若干部宛準備し，図書館に備え付ける予定。

Buffa : *Models of Production and Operations Management*, 1963, Wiley, \$ 9.50

Bowman and Fetter : *Analyses of Industrial Operations*, 1959, Irwin.

Vajda : *Readings in Mathematical Programming, and ed*, 1962, Pitman, 21/-.

Kaufmann : *Methods and Models of Operations Research*, 1963, Prentice-Hall.

Hot, Modigliani, Muth and Simon : *Planning Production, Inventories and Work Force*, 1960, Prentice-Hall.

(注意：講義の前に上記テキスト及び参考書の一部を読んでおくことを前提として，講義を能率的に進める。)

管理科学 III

助教授 竹内 清

マーケティングに関するORの問題を，種々の文献を通して講義するとともに，学生にも適宜レポートしてもらい形式をとる。

参考文献として，単行本は

Mathematical Models and Methods in Marketing, ed. by Bass and others, 1961.

Bierman, Fouraker and Jaedieke, *Quantitative Analysis for Business Decisions*, 1961.

Frank, Kuehn and Massy, *Quantitative Techniques in Marketing Analysis*, 1962.

Howell & Tichrow, *Mathematical Analysis for Business Decisions*, 1963.

Carr & Howe, *Quantitative Decision Procedures in Management and Economics*, 1964.

雑誌としては

Journal of Marketing,

Journal of Marketing Research (1964年創刊)

その他。

計算機論

教授 古瀬大六

- 1 諸科学の統一化, 総合科学
- 2 情報, フィードバック, サイバネティクス
- 3 記号論理, 情報理論入門
- 4 電子計算機の構造
- 5 プログラミング
- 6 data processing
- 7 automation
- 8 人類の歴史における計算機革命の役割

以上, 電子計算機についての技術的知識よりもむしろ, その経済史的位
置付け, 社会革命におけるその役割, 諸科学の統一化のための手段としての
重要性, などについて論ずる。

経済学特殊問題

非常勤講師
(北海道大学)
(経済学部助教授) 降旗節雄

経済学史(E)

講師 未定

工業経済学(E)

助教授 吉武清彦

前編 総論

- I 工業技術論
- II 国家と産業の関係
- III 競争と独占
- IV 産業構造論
- V 工業立地論
- VI 工業金融論

後編 産業論

- I エネルギー産業
- II 鉄鋼業

- III 機械産業
- IV 電子工業
- V 化学工業
- VI 自動車工業

参考書

- 1) 岩波, 現代日本産業講座全8巻。
これは第1, 第8巻が前編のため, 残りの巻は各論のため参考になる。
- 2) 各章の始めに参考書を示す予定である。

社会政策(E)

助教授 吉武清彦

第一篇 社会政策史

- 第一章 古代・中世の奴隷制度
- 第二章 重商主義時代の社会政策(I)
- 第三章 “ (II)
- 第四章 産業革命期の社会政策
- 第五章 資本主義確立期の社会政策
- 第六章 両大戦間の社会政策
- 第七章 第二次大戦後の社会政策

第二篇 社会政策各論

- 第八章 労働者保護
- 第九章 賃金及び賃金政策
- 第十章 社会保険
- 第十一章 労働組合と社会政策
- 第十二章 労働運動
- 第十三章 国際的社会政策

- 参考書: 第一篇 大河内一男 社会政策(総論)(有斐閣)(改訂版)
コール イギリス労働運動史
山中篤太郎 イギリス労働運動小史
第二篇 大河内一男 社会政策(各論)(有斐閣)

E. H. Phelps Brown, *The Economics of Labor*

(Yale Univ. Press, 1962) 610.—

近藤文二 社会保険 (岩波書店)

篠原・舟橋編 日本型賃金構造の研究

商品学 (C)

教授 齋藤 要

商品学は総論と各論に分けられるが、本年度は主として総論の概要を講述し、各論については関説する。

I 商品学の歴史と体系

1. 欧米的形態
2. 日本的形態
3. 自然科学的商品学の批判
4. 社会科学的商品学の批判
5. 現代商品学の本質と問題点

II 商品の分類

1. 学の対象とする商品
2. 理論的分類体系
3. 実用的分類体系
4. 分類論における問題点

III 商品の品質

1. 品質の理論的構造
2. 品質の実用的構造
3. 品質の評価と価格との相関性
4. 品質の劣化と対策
5. 品質鑑定の意味と方法
6. 品質政策 (品質の標準化, 品質計画, 品質管理等を含む)

IV 商品の市場適性因子とその矛盾概念

1. 適質性 (保存性, 運搬性, 代替性等の固有品質のみならず商品の形態即ち包装, 流行, デザイン等についても論ず)
2. 適価性 (同系商品の価格構成要素及び価格と市場性との相関性についても論ず)

3. 広知性 (企業体の行なう広知活動のみならず, 最近の消費者運動についても論ず)

特定のテキストを使用せず, 必要に応じて要綱を印刷したプリントを配布し, 折をみて商品鑑定のモデル実験を行なう。

工場経営 (C)

助教授 伊藤 森右衛門

第一章 序 —工場経営の発展と管理的思考— 講義予定日数

- | | |
|---------------------|-----|
| 第一節 経営的生産の発展と管理的思考 | (3) |
| 第二節 経営管理の過程と『科学的方法』 | (3) |
| 第三節 工場管理の体系と組織構造 | (3) |

第二章 工場経営と生産管理

—工場管理の機構的側面—

- | | |
|--------------------|-----|
| 第一節 生産計画の体系と樹立過程 | (3) |
| 第二節 統制活動の諸段階と集中化 | (3) |
| 第三節 事例研究 —下社の生産管理— | (4) |

第三章 工場経営と労務管理

—工場管理の人的側面—

- | | |
|-------------------------|-----|
| 第一節 賃銀管理と職務評価 | (3) |
| 第二節 現場監督者と人間関係 | (3) |
| 第三節 事例研究 —O社の労務管理と労使関係— | (4) |

参考書: Raymond Villers: *Dynamic management in Industry*. Samuel Eilon: *Elements of Production Planning and Control*. 何れも丸善アジア版で刊行されている。講義と関連する点が多いので参考とされたい。

5. 教職に関する専門科目

教育原理

助教授 田中昭徳

- I 教育現象と「教育」の概念
- II 教育を規定する歴史的・社会的諸要因と陶冶理想
- III 近代教育学の発達と教育学の諸類型
 - イ 体系的教育学の発達
 - ロ 観念論的教育学
 - ハ 経験論的教育学
 - ニ 実証主義的教育学
 - ホ 社会科学的教育学
 - ヘ 精神科学的教育学
 - ト プラグマティズム教育学
 - チ 比較教育学の発達
- IV 教育制度
- V 教育政策と教育行財政
- VI 教育課程
- VII 教育過程と教育方法
- VIII 教師
- IX 教育の可能性と限界——今日の教育状況とその問題

商業科教育法 非常勤講師 (小樽商科大学短大教授) 金巻賢字

下記のテキストにノートを併用する。講義の主要内容は次のとおりである。

- 第1章 商業教育の沿革
 - 第1節 欧米における商業教育
 - 第2節 わが国における商業教育
 - 第3節 商業教育の現状と問題点
- 第2章 教育過程

- 第1節 商業教育の性格と目標
- 第2節 商業科目の分類
- 第3節 商業過程の構成

第3章 学習指導法

- 第1節 商業科と単元学習
- 第2節 商業諸科目と単元学習
- 第3節 教師論

以上

教科書：奥村恒夫著 「商業教科教育法」 大明堂刊，240

英語科教育法

助教授 脇田 勇
外国人教師 Wallace W. Smith

テキスト：

高等学校学習指導要領解説 外国語編 文部省 開隆堂刊行
中学校外国語〔英語〕指導書 文部省 開隆堂刊行

教育実習 非常勤講師 (小樽商科大学短大教授) 金巻賢字

十月頃に小樽緑陵高校を実習校として約三週間にわたって行われる予定である。実習科目は「商業一般」と「商業簿記」である。はじめに授業参観があり、後に教壇実習がある。この教育実習のまえに、予め諸般の心得について指導が行われる。

教育史

助教授 田中昭徳

- I 中世都市の発達と学校の簇生
 - 1. 都市生活と市立学校の成立
 - 2. 大学の発生
 - 3. ローマ教皇庁の文教政策
- II ルネサンス期の学校と人文主義者
- III 宗教改革と義務教育制度の制定
- IV ユートピアの教育構想

V 絶対主義国家の教育政策と「教授学者」たちの活動

1. イギリス
2. ドイツ
3. フランス

VI 市民革命と民衆教育

1. イギリス市民革命期の教育思想
2. フランス革命期の教育思想と革命議会の教育改革命
3. プロイセン改革と W. r. フンボルトの学校改革

VII 産業革命と公教育制度

1. 慈善学校運動より工場法運動へ
2. ペスタロッチ、アダム・スミス、マルサス、ロバート・オーエンの勤
労民衆教育論
3. 年少労働と諸国家における普通教育制度の成立

VIII 帝国主義諸国の教育政策と教育運動

IX 社会主義政権の成立とその教育計画

X 第二次世界大戦後の諸国における教育改革と技術革新

XI わが国における「近代教育」の展開

6. 管理科学科目の履修に関する注意事項

(1) 管理科学科目の科目体系：

昭和40年度において設置される予定の管理科学科目の科目体系列は下記の如きものとなるであろう。

一年度生	数 学 (解析Ⅰ)	商業数学 (代数Ⅰ)	数理統計学 (統計Ⅰ)	
二年度生	応用数学Ⅰ (解析Ⅱ)	応用数学Ⅱ (代数Ⅱ)	応用数学Ⅲ (統計Ⅱ)	計 算 機 論
三年度生	管理科学Ⅰ (経 済)	管理科学Ⅱ (生 産)	管理科学Ⅲ (販 売)	数 値 計 算
四年度生	研究指導Ⅰ (経 済)	研究指導Ⅱ (生 産)	研究指導Ⅲ (販 売)	機 械 化 会 計

上記諸科目以外に所定の一般教育科目を履修しなければならないこと、勿論である。更に、経済・商業関係の諸科目のうち重要な数科目をも必修として追加する計画である。研究指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、そのうち何れか一つを履修すればよい。然し、希望により他の研究指導に出席することも認められるであろう。

以上の結果、本学の学科は、経済学科、商業学科、管理科学科の三本立てとなるであろう。

(2) 管理科学科目の開設計画：

上記管理科学関係15科目のうち、38年度において開講される科目は、一年度生向けの「数学」、「商業数学」、「数理統計学」、及び二年度生向けの「応用数学Ⅰ」、「応用数学Ⅱ」、「応用数学Ⅲ」の6科目である。

39年度においては更に、「管理科学Ⅰ」、「管理科学Ⅱ」、「管理科学Ⅲ」及び「計算機論」、「数値計算」の5科目が追加開講され、40年度においては「機械化会計」が加わる。また、学則上には記載されていないが、40年度において「研究指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」が加わり、管理科学科として完成することになるであろう。

然し、現在においては、学則上認められている学科は、商業・経済の二学科のみであるので、これら諸科目は一般教育科目、専門科目（共通科目）の中の一科目として取扱われており、管理科学科の正式発足（昭和40年度の予定）をまつて、管理科学科の必修科目に振り替えられることになるであろう。

(3) 管理科学志望者及び専攻者に対する注意事項

- (1) 管理科学志望者は、他の商業・経済学専攻者と同じく、所定の一般教育科目・保健体育科目・外国語科目を履修しなければならない。専門教育科目中の必修科目である「民法Ⅰ」，「統計学」，「経済原論」，「経済史概論」，「経営経済学」，「簿記学」の6科目についてもまた同様である。
- (2) 一年度生（管理科学志望者）は、本年度において一般教育科目「数学」及び専門科目の「商業数学」，「数理統計学」の三科目を履修し、その試験に合格しておくことが望ましい。これらを履修しておかないと、次年度において「応用数学Ⅰ」，「応用数学Ⅱ」，「応用数学Ⅲ」の理解に困難を感ずるであろう。
- (3) 二年度生（管理科学志望者）は、本年度において専門科目の「応用数学Ⅰ」，「応用数学Ⅱ」，「応用数学Ⅲ」，「計算機論」の四科目を必ず履修し、その試験に合格しておかなければならない。それ以外に、全学的必修科目のうち「統計学」，「経済原論」，「経済史概論」，「経営経済学」，「簿記学」の5科目はこれを本年度中に履修しておくことが望ましい。
- (4) 三年度生（管理科学ゼミ学生）は、本年度において、専門科目の「管理科学Ⅰ」，「管理科学Ⅱ」，「管理科学Ⅲ」，「数値計算」の四科目を履修しなければならない。それ以外に、全学的必修科目のうち「商法Ⅰ」，「会計学」の2科目は、これを本年度中に履修しておくことが望ましい。「管理科学Ⅰ」，「管理科学Ⅱ」，「管理科学Ⅲ」のうち、2科目は4単位の講義として、残りの1科目は研究指導（前期）として取り扱われる。3科目のうちどれを研究指導（前期）とみなすかの決定は、本年11月末日までに行なわなければならない。本年度において「管理科学Ⅰ」を研究指導（前期）としてとる場合は次年度における「研究指導Ⅰ」と併せてこれを12単位の研究指導（ゼミナール）として扱う。「管理科学Ⅱ」，又は

「管理科学Ⅲ」を研究指導（前期）とするときは、それぞれ「研究指導Ⅱ」又は「研究指導Ⅲ」を組み合わせる12単位の研究指導（ゼミナール）とする。系統を異にするもの（例えば「管理科学Ⅰ」と「研究指導Ⅱ」と）を組み合わせる12単位の研究指導とすることは許されない。次年度（昭和40年度）において自己の所属ゼミナール以外の研究指導に出席することも許されるが、単位には算入されない。

- (5) 以上のような必修科目の編成をもっているため、三年度以降において管理科学専攻に編入を希望しても、在学年数を延長せぬ限り、管理科学専攻者として卒業することは不可能である。
- (6) 然し、反対に、二年度において管理科学諸科目を履修したものが、三・四年度において他の専攻に移ることは可能である。

(4) 一般学生に対する注意事項

各科目（研究指導を除く）は、専攻及び学年の如何を問わず、全学生に開放される。然し、下記のような Pre-requisites 関係があるので基礎となる諸科目を履修せずに直ちに程度の高い科目を履修することには非常な困難を伴うであろう。

